

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	統合分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	災害看護・国際看護	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	AMDA(菅波 茂)他	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

災害看護では、東北地方の大震災、風水害、列車事故など様々な災害により、災害教育・訓練の必要性を理解する。災害という異常事態の中で、国内外での救援体制やそれぞれの機関が行う救援活動の全体像から災害看護の役割を理解する。災害急性期の看護活動に必要な判断力、基本的な救援活動、心構えと態度、行動力について総合的に理解し、更に避難所における健康問題や倫理問題、こころのケア高齢者への看護などを学ぶ。自衛隊日本原駐屯地、美作消防署の施設見学の実施。

国際看護では世界の健康問題と看護の現状と課題をふまえ、看護の国際協力の活動内容の実際を知り、諸外国で展開される、看護実践や国際的な支援活動について学び、国際的視野を広げる。アメリカ研修の実施。

《成績評価の方法と基準》

小テスト、ミニレポート並びに演習参加態度、筆記試験で総合的に評価。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 統合 災害看護学・国際看護学 医学書院

《授業外における学習方法》

講義前に事前課題を提出する。また、講義後は小テスト、ミニレポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

国内外の災害や国際状況を知り、看護を深めることができるよう、日ごろよりニュースや新聞などに関心を持ちましょう。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 海外研修にてカレッジでの研修、講義、シュミレーション実習に積極的に質疑応答ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	カレッジでの研修、講義、シュミレーション実習		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 海外研修にてカレッジでの研修、講義、シュミレーション実習に積極的に質疑応答ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	カレッジでの研修、講義、シュミレーション実習		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 施設見学で積極的に質疑応答ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	施設見学(老人福祉施設・病院など)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 学術発表・文化交流を通じ、積極的に交流をはかり意見を述べる事ができる。	配布資料	講義テーマについての事前学習
	各コマにおける授業予定	学術発表・文化交流		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 国際看護、世界の健康問題を学び説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み予習・復習を行う
	各コマにおける授業予定	国際看護学とは 保健医療分野の開発理念の変遷 世界の健康問題の現状		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際協力について学び説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際協力のしくみ 国際救援・保健医療協力分野で活躍する国際機関 国際救援の調整		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	多様な文化を理解、尊重し看護する重要性を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	多様な文化(文化を考慮した)看護 開発協力と看護 開発途上国と看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際的な災害救援および復興支援にかかるガイドラインを理解し、支援の実際を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際的な災害救援および復興支援にかかるガイドライン 国際的な災害支援および復興支援の実際 国際救援の課題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の災害支援・復興支援を学び国際救援の課題を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際的な災害支援および復興支援の実際 国際救援の課題		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の災害支援・復興支援を学び国際救援の課題を説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際的な災害支援および復興支援の実際 国際救援の課題		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学・講義内容を積極的に学び、質疑応答ができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	自衛隊見学(日本原駐屯地) 国の防衛・災害派遣・国際貢献について		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	施設見学・講義での学びをレポートにまとめることができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	自衛隊見学(日本原駐屯地) 国内の救援活動の現状と課題		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	地域防災の実際を学び、説明することができる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	美作消防署・救急車の見学 地域防災・自助と共助の重要性 トリアージ・応急処置について 救急車の要請状況と課題		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義内容を理解し災害看護について説明できる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	災害看護学における倫理・教育・研究 まとめ		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	講義内容を理解し国際看護について説明できる。	テキスト 配布資料	配布資料、テキストを読み 予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	国際看護学における倫理・教育・研究 まとめ		